

放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023 年 1月 10日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう高木2組

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	3	2	1	・室内活動の際、人数が多い時は学習室と運動室に活動場所を分け、スペースを確保している。 ・体育用スペースの天井が低いので、ポールなどが当たりやすいので、活動内容を工夫している。
	②	職員の配置は適切である	3	3	0	・日によってマンツーマンで関わらないといけない場面があるが、職員配置には気をつけている。
	③	衛生面の管理が行き届いている	2	4	0	・冷蔵庫掃除などができていない月があるため、空いた時間を見つけてやっていきたい。 ・手洗い、うがい、消毒、マスクができていないことがあるので、子どもへの声掛けを徹底していきたい。 ・排水が良くない手洗い場やトイレなどがあり、忙しいと掃除がおろそかになってしまうことがあるため、こまめに掃除をしていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	3	2	1	・ミーティングや研修で改善をしていくための取り組みをしている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	・厳しいご意見にも目を背けず職員個々が対応する力をつけていけるよう努める。
	⑥	自己評価の結果を公開している	4	1	1	・結果を基に改善できる支援があれば変えていき、子どもたちが過ごしやすい環境づくりをしていく。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	5	1	0	・ただ研修を受けるだけで終わることなく、実践できるように振り返りをきちんと行うようにする。 ・全体研修だけでなく、エリアでの研修も増え確保できていると思う。 ・全体研修、エリア内研修、外部研修はフィードバックを実施。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	6	0	0	・契約時のアセスメントでニーズを細かく聞き取っている。 ・タイムリーに課題を見出し、半年に1回のモニタリング、カンファレンスをし、目標を決定している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	5	1	0	・子どもたちに合わせた活動を計画できるように日々、様子を見ていく。 ・勤務時間内での活動計画立案に参加することは難しいが、必要な連絡は受けている。 ・役割が固定化しないよう、更なる工夫が必要。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	6	0	0	・新しい活動を取り入れてたいため、本やインターネットで調べて提案をしていきたい。 ・手作りおもちゃなどで子どもが飽きないようにしている。 ・全員でアイデアを出し、新しいものにも取り組んでいる。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	4	2	0	・固定化や手持ち無沙汰になってしまいがちなので、周りをよく見て支援をしていく。 ・季節の行事や工作など行っているが、課題の設定をより明確にしていく。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	5	1	0	・子どもの表情や言動などをよく見て支援をするように心がけている。 ・個別活動の面でもより工夫できるよう心がけていく。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	・休み明けの勤務では、変更点などが多くあるためきちんと確認をしている。 ・活動内容、役割分担を明確にし、準備にあたれている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	0	・良いこと、できるようになったことなどのプラスの面も大事にしつつ、悪い面もきちんと記録に残すようにしている。 ・ただあったことのみを記録するのではなく、個別支援計画に沿った内容、トピックを明確に記録することを心がける。
	⑮	定期的モニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	・日々、子どもたちの様子は変化するため、よく見て覚えておくようにしている。 ・毎月計画的に実施できている。
⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	4	1	0	・年間で行うべき活動に組み込んでいる。	

関係機関、保護者様との連携	⑰	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	3	0	・トラブル発生時の対応を的確に行っているか自信がないことがある。もっと冷静に対処したい。 ・予想外のことが起きてしまうとパニックになってしまうので、落ち着いて行動ができるようにしていきたい。(相談や連絡を忘れないようにする。) ・子どもの様子を交流できる場をもう少し作ってきたい。
	⑱	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	4	2	0	・主として電話や書面で連携を取っている。
	⑲	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	1	2	情報を共有するよう努めている。
	⑳	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	2	発達支援部会などに参加し、連携を取っている。
	㉑	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	6	0	0	送迎時に学校での様子などを聞くことがあるので、明確に他の職員にも伝えるように心がけている。
保護者様への説明責任等	㉒	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	0	1	・契約時に説明するが、更なる確にお伝えできるよう心掛ける。
	㉓	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	3	2	1	・連絡帳のコメントへの返事、助言が苦手なので、他の職員を見習いたい。 ・難しい案件は上司、他機関との連携を取っている。
	㉔	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	1	0	5	・コロナ禍の中開催できていないが、収束すれば少しずつ再開していく。
	㉕	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4	2	0	・対応が遅れてしまうことがないよう、気をつけていく。
	㉖	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	0	2	夢だより、ブログで発信している。
	㉗	個人情報保護に十分注意している	6	0	0	職員全員で徹底している。
	㉘	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	1	0	・言葉選びを慎重に行い、保護者の方を必要以上に不安にさせないように心がけている。 ・視覚支援、個別の声掛けなどで工夫している。
	㉙	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	2	1	3	・コロナウイルスが少し収まったら行事などにも目を向けて参加してみたい。
	非常時などの対応	⑳	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	5	1	0
㉑		非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	6	0	0	・いつ何が起きるか分からないので、避難訓練を行い、落ち着いて子どもたちを守るようにしていきたい。
㉒		虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	・虐待だと思われないように、子どもたちとの接し方は常に気をつけている。
㉓		いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	3	2	1	・契約時に必ず説明を行っている。
㉔		保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	6	0	0	・昼食後の与薬が必要な児童に対して、与薬表を準備し、薬と一緒に預かりする。職員でダブルチェック体制を取っている。
㉕		ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	6	0	0	・どんな小さなことでも不安に思ったこと(支援中の出来事)を報告や相談をするようにしている。 ・カンファレンス時に職員間で共有している。